

第 69 回 3S 会 症例呈示

鈴木 宏¹、金井圭太¹、櫻井晋介¹、小林 聡¹、関亜矢子¹、越知泰英¹、原 悦雄¹、
長谷部修¹、太田浩良²

¹長野市民病院 消化器内科 ²信州大学学術研究院保健学系検査技術科学専攻 生体情報検査学領域

【症例】60 歳代女性

【主訴】なし

【既往歴】脂質異常症、脂肪肝、GERD

【内服】ランソプラゾール 15 mg (2008 年頃から)

ロスバスタチンカルシウム 2.5 mg

【生活歴】飲酒：なし、喫煙：20～27 歳 3 本/日、現在禁煙

【家族歴】祖父：肺癌、父：心筋梗塞、糖尿病、兄：胃癌

【現病歴】

2006 年 6 月より当院健診 EGD にて GERD、胃底腺ポリープを指摘。以後年 1 回健診 EGD を施行され、徐々にポリープの増大を認めていた。2016 年健診 EGD で異常を指摘。

【現症】身長：154.4 cm、体重：85 kg、BMI：35.8

胸腹部異常なし、口唇など明らかな皮膚の色素沈着なし

(調査された項目のみで結構です。)

【末梢血液像】

WBC(mm ³)	5930
RBC(mm ³)	504
Hb(g/dL)	14.9
Ht(%)	44
その他	
その他	
その他	

【便潜血】

(-)

【生化学】

TP(g/dL)	7.2
Alb(g/dL)	4.4
T-Bil(mg/d)	1
GOT(IU/L)	55
GPT(IU/L)	62
LDH(IU/L)	241
γ-GTP(IU)	64
その他	
その他	
その他	

T-cho(mg/	211
BUN(mg/d	11
Cr(mg/dL)	0.69
Na(mEq/L)	145
K(mEq/L)	3.8
Cl(mEq/L)	107
その他	
その他	
その他	
その他	

【最終診断】

Carcinoma in Peutz-Jeghers-type polyp, tub1, gastric type, pT1a (M), UL (-), ly (-), v (-),
HM0, VM0

